

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
ダイオライト記念	2019/3/13	JpnII	船橋	2400m	スローペース	重	能力比較

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	チュウワウイザード	牡4	55	川田	キングカメハメハ	ミスプロ系	デュランダル	サンデー系	A	A	B	B	A	B	◎	
2	2	カガノカリスマ	牡7	56	渡辺	ロージズインメイ	ヘイロー系	ブライアンスタイム	ロベルト系	D	C	D	D	D	D		
3	3	トーセンマタコイヤ	牡8	56	森	ディーブインパクト	サンデー系	Gold Away	ノーザン系	D	A	D	D	D	D		
	4	サウンドトゥルー	セ9	56	御神本	フレンチデビュティ	ノーザン系	フジキセキ	サンデー系	A	A	B	B	A	B	○	
4	5	チェダー	セ6	56	池田	アドマイヤムーン	ミスプロ系	ボストンハーバー	ナスルーラ系	D	D	D	D	D	D		
	6	オールブラッシュ	牡7	56	田辺	ウォーエンブレム	ミスプロ系	Crafty Prospector	ミスプロ系	C	B	B	B	B	B	△2	
5	7	ヤマノファイト	牡4	55	本橋	エスポワールシチー	サンデー系	フォーティナイナー	ミスプロ系	C	B	B	B	B	B	△3	
	8	ディアドムス	牡7	56	岡部	ジャングルポケット	ナスルーラ系	アグネスデジタル	ミスプロ系	D	B	D	C	D	D		
6	9	アポロケンタッキー	牡7	56	戸崎	Langfuhr	ノーザン系	Gone West	ミスプロ系	C	B	A	B	B	B	△1	
	10	カムムル	牡5	56	左海	サマーバード	ミスプロ系	Star De Naskra	ナスルーラ系	D	B	D	D	D	D		
7	11	アサヤケ	牡8	56	本田	サウスヴィグラス	ミスプロ系	シンボリクリスエス	ロベルト系	D	B	D	D	D	D		
	12	ハセノパイロ	牡4	55	矢野	パイロ	ナスルーラ系	ティンバーカントリー	ミスプロ系	C	A	D	C	C	C		
8	13	コスモマイギフト	牡10	56	大原	アツミラーレ	サンデー系	スピニングワールド	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		
	14	ミツバ	牡7	56	和田	カネヒキリ	サンデー系	コマンダーインチーフ	ノーザン系	A	B	B	B	B	B	▲	

隊列図	見解	ラップタイム
オール チュウ ミツバ ヤマノ アポロ サウン ハセノ トーセ ディア カムム チェダ アサヤ カガノ コスモ スローペース	<p>J R A 勢 4 頭のうち 3 頭は川崎記念組で同組の取捨がカギを握りそうなレース。川崎記念はミツバが 7 歳にして待望の G I (JpnI) 初制覇。ケイティブレイブを下したのは素直に評価していかもしいが、競走馬としてピークを迎える 4 ~ 6 歳の牡馬が 1 頭しかおらず、実質 G 3 ~ G 2 といっているいいメンバー。ミツバ自身、直近の G 1 (JpnI) では 18 年チャンピオンズカップ 8 着、17 年東京大賞典 6 着、17 年チャンピオンズカップ 6 着と苦戦していたので、川崎記念では相手弱体化で「相対的に優位に立てた」だけだろう。一方、今年のダイオライト記念は生きのいい 4 歳のチュウワウイザードを始め、地方勢もサウンドトゥルー、ヤマノファイト、ハセノパイロとそれなりに粒ぞろい。今年のダイオライト記念において川崎記念組は決して優位ではないはずだ。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はチュウワウイザードがダートグレード 2 勝目を挙げる。前走東海ステークスでは破格の時計で逃げ切った勝ち馬インティから 0.3 秒差の 2 着に好走。インティはご存知の通り、次走フェブラリーステークスも逃げ切り勝ち。(以下省略)</p>	

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	チュウワウウィザード	◎	前走東海ステークスでは破格の時計で逃げ切った勝ち馬インティから0.3秒差の2着に好走。2走前の名古屋大賞典は着差以上に強い勝ちっぷり。能力を出し切れれば、ミツバに負けることはない。		
2	2	カガノカリスマ		2走前の川崎記念では勝ち馬ミツバから4.4秒差の6着に敗れ、前走佐賀記念では勝ち馬ヒラボクラターシュから6.0秒差の10着に敗退。ダートグレードでは荷が重い。		
3	3	トーセンマタコイヤ		「初ダート」&「トーセン」&「森騎手」といえば、JRAからの転入初戦で埼玉新聞栄冠賞を逃げ切ったトーセンデュークと同じだが、本馬はいきなりのダートグレード挑戦。仮にダート適性があったとしても（血統的には芝でこそに見えるが）、即通用するほど甘くないのでは。		
	4	サウンドトゥルー	○	3走前のJBCクラシックでは上り3位で5着、2走前の東京大賞典では上り2位で4着に健闘。能力はまだまだ衰えていない。船橋で行われる日本テレビ盃では15年1着、16年3着、17年2着、18年3着と4年連続で3着以内に好走中。スパイラルカーブが採用されている船橋は走りやすいのだろう。		
4	5	チェダー		地元・笠松ではJRA500万下在籍馬との交流戦でも全く歯が立たず。ダートグレードでは荷が重過ぎる。		
	6	オールブラッシュ	△2	展開の恩恵を受けてどこまで粘れるか。川崎記念では勝ち馬ミツバに完敗といえる3着。ガチンコ勝負ではチュウワウウィザード、ミツバに見劣るので、上位に食い込むには相手の凡走待ちという面があるか。3着なら十分にチャンスはある。		
5	7	ヤマノファイト	△3	前走金盃は勝ち馬サウンドトゥルーから0.5秒差の4着。内容的には完敗だったが、同斤量を背負って大きく負けなかったのは評価していい。今回はサウンドトゥルーより斤量1キロ軽い立場。本馬自身にも上積みがあれば、勝ち負けはともかく3着なら可能性があっていい。		
	8	ディアドムス		2018年以降、【0.0.1.6】と南関東重賞でも苦戦が続いている。もうはやダートグレードでJRA勢と互角に渡り合える力はない。		
6	9	アポロケンタッキー	△1	ピークを明らかに過ぎたが、船橋は【1.2.0.0】と相性のいいコース。レースセンスがなく、鈍くさい馬なので、スパイラルカーブが採用されている船橋コースが合っているのだろう。積極的に買いたいわけではないが、流れに乗りやすそうな枠を引き、川崎記念から着順を上げて来てても不思議ではない。		
	10	カンムル		前走金盃では展開不向きも6着まで。ダートグレードで上位争いに加わる力はない。		
7	11	アサヤケ		南関東のオープン特別でも大敗が続いている現状。地元のビッグレースなので参加するだけだろう。		
	12	ハセノパイロ		叩き2走目の報知グランプリカップで3着と復調気配を感じさせる走り。本質的に叩き良化型でさらなる上積みが見込めるので、相手は一段と強くなり、本馬が100%の力を出し切っても上位争いに加わるか怪しい。パイロ×ティンバーカントリーの血統。距離はもっと短い方がいいだろう。		
8	13	コスモマイギフト		3走前の川崎記念では勝ち馬ミツバから11.2秒差の11着。ここも回ってくるだけで終わるのでは。		
	14	ミツバ	▲	前走川崎記念ではオールブラッシュ、アポロケンタッキーを下しており、このメンバーなら当然能力上位の存在。ただ川崎記念はメンバーレベルが低く、ややハマった感があるのも事実。気難しさのあるカネヒキリ産駒で、外枠から強気の先行策を打つと馬が走るのをやめてしまう可能性も。		